

2012年6月18日

## 横浜ゴム、「グリーンウェイブ 2012」に参加し 23,000 本を植樹

横浜ゴム（株）は、世界的な緑化キャンペーン「グリーンウェイブ 2012」に賛同し、国内 9 拠点、海外 13 拠点の計 22 拠点で参加した。うち 11 拠点で植樹活動を実施し、2,722 人の手によって 23,000 本を植樹した。「グリーンウェイブ」は国際連合が定めた「国際生物多様性の日」（毎年 5 月 22 日）に世界各地で一斉に植樹などを行なう取り組み。日本政府は 3 月 1 日から 6 月 15 日までの期間を「グリーンウェイブ 2012」とし、学校や企業に広く参加を呼びかけていた。横浜ゴムは 2010 年から 3 年連続で「グリーンウェイブ」に参加している。

今年、植樹活動を行ったのは、国内は平塚製造所、尾道、茨城、新城、三重、三島工場と総合タイヤテストコース D-PARC。海外は台湾の協機工業、米国のヨコハマタイヤコーポレーション、タイのヨコハマタイヤマニュファクチャリング（タイ）、TIRE TEST CENTER OF ASIA。その他の拠点では樹木・苗木への水やり、草取りなどを行なった。

また、横浜ゴムは従業員が自工場内で育てた苗木を行政、学校、他企業に提供する活動を推進している。「グリーンウェイブ 2012」期間中も、震災がれきを活用した森づくりを目指して岩手県大槌町で開かれた「千年の杜」植樹会（横浜ゴム主催）を含め計 4,236 本の苗木を地域社会に提供した。

横浜ゴムは創業 100 周年の 2017 年に向けて、およそ 10 年かけて国内外の全生産拠点に合計 500,000 本を植樹し杜を創生するプロジェクト「YOKOHAMA 千年の杜」を 2007 年にスタートした。宮脇昭氏（植物生態学者／横浜国立大学名誉教授）の指導の下、植樹活動を進めている。「グリーンウェイブ 2012」終了時の 6 月 15 日時点で植樹累計本数は国内外合わせて約 256,000 本となり、目標の半数を達成した。

このリリースに関するお問い合わせ先  
横浜ゴム（株）広報部 担当：菊地  
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570